



# 丸山城



丸山城を北方より望む

所在地：石川県鳳珠郡穴水町甲

立地：丘陵頂部、標高66m

城主：上杉氏

時期：戦国

見学時間（参考）：30分～60分

能登島との間の通称「大口の瀬戸」に突出する岬先端に位置し、三方を海に囲まれた天然の要害である。東西から見ると円錐形の山容から丸山（円山）と呼ばれ、古来より船舶の崇敬を受ける信仰の山であった。頂上の主郭平坦面に延喜式内社の加夫刀比古神社が鎮座している。



登城口（神社参道）

丸山東裾で昭和30～40年代にかけ安山岩が採石され、重機やトラックの進入路として鳥居から南裾を回る道路造成により遺構の一部が破壊された。また中腹には植林のための土留めや進入路が造られ遺構の判別を難しくしている。

天正4年（1576）10月、越後の上杉謙信が能登に進攻し、翌5年4月熊木、富来、穴水、甲山、正院の五堡に将兵を置いて越後に帰陣したと「越登賀三州志」は記している。富来を除く四堡は能登内浦沿岸部に位置し、富山湾から能登内浦にかけて制海権を掌握するための拠点化であったと想定される。

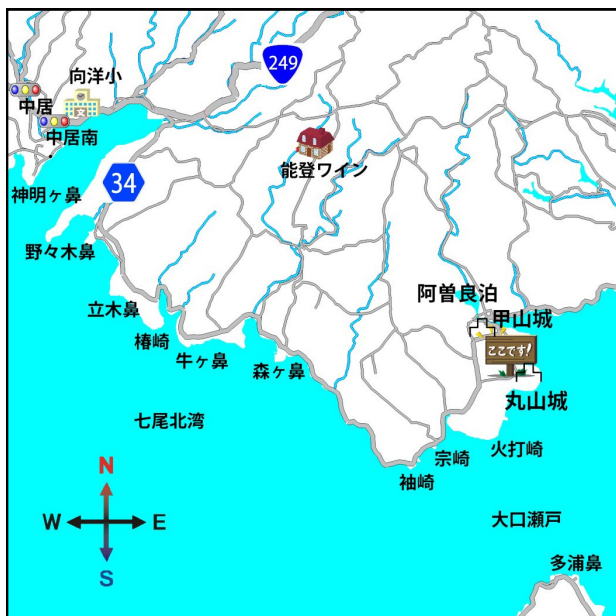


山麓の神社鳥居

丸山城は穴水町甲の小字大甲にあり、小字小甲にある甲山城とは「北越太平記」に「此の山中に城跡と呼ぶ處二ヶ所あり」と記され、城主や城跡の場所が混同して伝えられてきた。甲、阿曾良は天正4年以前は畠山七人衆のひとり三宅氏の庶流、三宅新四郎の領地であったことが知られる。



主郭に鎮座する加夫刀比古神社



中腹に残る横堀



横矢を掛ける檜台か？

いしかわ城郭カードに関する最新情報・お問い合わせ  
北陸城郭プロジェクト（フリー・スタイル有限会社）  
〒929-0335 石川県河北郡津幡町井上の荘3-9  
TEL. 076-204-6046 FAX. 076-289-3943  
E-MAIL. contact@j-sampo.com  
ホームページ城郭さんぽ <https://www.j-sampo.com/>